

生活科学系コンソーシアム第 25 回会議議事録

日時：平成 30 年 9 月 25 日（土）16:30～18:00

場所：日本学術会議 6 階 会議室

出席者（敬称略）：

コンソーシアム構成学会より	計 11 名
国際服飾学会	山村明子
日本衣服学会	阿部栄子
日本家政学会	綾部園子
日本調理科学会	三宅裕子
服飾文化学会	大網美代子
日本繊維製品消費科学会	小柴朋子
生活経済学会	上村協子
日本保育学会	波多野名菜
日本栄養改善学会	赤松利恵
日本食品科学工学会	飯島陽子
日本健康心理学会	山蔦圭輔

日本学術会議 健康・生活科学委員会、家政学分科会委員 計 12 名

小川宣子、塚原典子、薩本弥生、多屋淑子、都築和代、工藤由貴子、藤原葉子、
倉持清美、重川純子、宮野道雄、鈴木恵美子、守隨香

欠席者：構成学会

日本消費者教育学会、日本食品衛生学会、日本食生活学会、日本保育学会、
日本食品科学工学会、日本健康医学会、日本健康科学学会

欠席者：日本学術会議 健康・生活科学委員会、家政学分科会

香西みどり、永富良一、熊谷日登美、片山倫子

配布資料：

資料 1. 出席名簿

資料 2. 生活科学系コンソーシアム第 11 回総会議事録（案）

資料 3-1. 第 10 回生活科学系博士論文発表会のお知らせ

資料 3-2. 生活科学系博士論文発表会 発表申込書

資料 4. 家政学分科会シンポジウム

資料 5. 構成学会の会長及び連絡系の氏名および連絡先一覧

議題：

(1) 生活科学系コンソーシアム第 11 回総会議事録（案）の承認（香西/守隨）資料 2

守隨委員より、資料に沿って議事録案の内容が報告され、承認された。

(2) 第10回生活科学系博士論文発表会について (小川会長) 資料3-1、3-2

小川会長より、家政学は複合分野であるため、他分野の研究に触れる機会が得にくいこと、したがって課程博士論文を執筆した研究者に貴重な機会であること及び発表者に賞を授与する旨が説明され、発表者募集が呼びかけられた。続いて守隨委員より、資料に沿って開催日時、場所、発表希望者の申し込み方法の説明がなされた。

(3) 第7回(12月22日開催予定)シンポジウムについて (多屋)

小川会長より、家政学分科会がこれまでに家庭科教育、資格教育のあり方、免許更新講習等について様々な提言を行ってきたことが説明され、今後は特に行政とかわりながら、よりよい資格教育がなされるよう引き続き提言を発していきたい旨が述べられた。続いて多屋委員より、12月22日を予定しているシンポジウムについての見通しが説明された。

(4) 第12回生活科学系コンソーシアム総会開催日程について (小川会長)

小川会長より次回の総会日程について、2019年5月14日(火)17:00~18:00であることが伝えられた。総会への出席は各構成学会より会長と連絡係の2名であることも確認された。

報告

(1) 家政学分科会からの報告 (小川会長)

第24期家政学分科会で、ワーキンググループ(WG)を立ち上げ、提言を作成している。ワーキンググループごとに進捗状況が報告された。

- ① 資格教育に関しては、小川会長より、資格教育がどうあるべきか、学術会議として大学の現実をふまえた提言を行うことを目的としていることが説明され、更に衣・食・住・児童の各分野ごとの進捗状況が報告された。
- ② 免許更新WG:教員免許更新講習に関しては、家庭科教員の力量形成につながるような講習の充実を目指していることが報告された。
- ③ 生涯学習WG:生涯学習に関しては、職業キャリアではなく生活に焦点化し、生活の社会化にかかわる企業研修について今後検討する旨が報告された。
- ④ 科学研究費WG:科研費に関しては、家政学の復活を目指し、家政学関連のキーワードを洗い出す作業を進めていることが報告された。
- ⑤ 被服分野WG:衣料管理士を中心とした衣生活にとって修得する知識・技術について検討を行っており、それにあたって、アンケートを実施し、検討内容をシンポジウムを家政学分科会として主催することが報告された。

- ⑥ 住分野 WG:提言作成にあたってのアンケートの進捗状況について報告された。
- ⑦ 保育分野 WG:保育分野について教育内容および現場などの課題を検討していることが報告された。
- ⑧ 食分野：管理栄養士の役割、資格取得に向けての教育内容などについてアンケートを実施し、課題について検討していることが報告された。

(2) シンポジウム開催について

(小川会長) 資料4

小川会長より、資料に沿って公開シンポジウム開催が紹介された。アパレル産業を支える被服学教育、衣生活を支える被服学教育がテーマであることが説明され、小川会長が司会、挨拶を務めることが述べられた。登壇する薩本委員からは衣料管理士および繊維製品品質管理士について、多屋委員からは大学における被服学教育について、発表のコンセプトが説明された。

(3) その他

1) 構成学会行事予定について

(阿部)

阿部委員より、構成学会からの行事予定の回答数が少ないことが述べられ、改めて回答が依頼された。

2) 連絡先情報の確認

(塚原)

塚原副会長より、資料で示した連絡先情報に誤りがないか確認してほしいと呼びかけられた。HPには昨年度のデータが掲載されており、早期の更新をしたいため、構成学会ごとに確認することになった。

3) 家政学分科会への要望・意見

(塚原)

塚原副会長より、構成学会からの要望や意見が募られ、出席者全員から各分野の現状や家政学分科会が行っている提言作成作業への要望が述べられた。

次回会議日程：2018年12月22日 午前（午後はシンポジウム）

場所：日本女子大学